



# 北川辺中だより

【学校教育目標】「知性を磨く 心豊かな たくましい生徒」

【生徒数】第1学年78人 第2学年57人 第3学年82人

発行：加須市立北川辺中学校  
住所：加須市麦倉 3705 番地  
電話：0280 (62) 2402  
FAX：0280 (62) 2768  
令和5年6月5日 第3号

【目指す学校像】「三者一体型の教育活動による 笑顔あふれる学校」

## 体育祭から学んだこと

校長 山村 一久

令和5年度がスタートし、1ヶ月半が過ぎました。今、目の前にいる仲間や先生方と手を取り合い、力を合わせて、よりよいクラス、よりよい学年、よりよい北川辺中学校を築き上げるよう、努力できたでしょうか。1、2年生にとっては、校外学習もいい経験になったはずですよ。

私の目から見て、みなさんの、この1ヶ月半の様々な取組は、とても素晴らしいものだったと評価をしています。みなさんの、自分自身の評価はどうでしょうか。

まず、少し立ち止まって、自分を客観的に見つめてみてください。

例えば、「挨拶を頑張ったな」とか、「クラスの仕事を頑張ったな」とか、「授業にしっかり取り組んだな」とか、「部活動を頑張ったな」とか、「対面式で新入生への説明を頑張ったな」とか、「一人で困っている仲間に声をかけたな」とか、「掃除を一生懸命がんばったな」とか、「言葉使いに気をつけたな」とか、そのようなことでよいのです。

大切にしてほしいことは、「自分の良かった部分」を確認することです。そして、もし、「もっとこうできたな」と思うことがあれば、それも意識しながら前進してほしいということです。

次に、「5月は、協力の月」です。5月は「協力」が大切な月です。

5月15日(月)に、1年生の体育の授業を見ました。学年種目「台風の目」の練習をしていました。その際、田中先生が「横を揃えましょう」「縦を揃えましょう」そして、「間隔をつめてなるべくコンパクトになりましょう」、最後に、「クラスみんなの心を一つにしましょう」と指導していました。みなさんが、「揃える」ということを意識して力を合わせる、これも協力だと思いました。

さて、「協力」は、あいさつから始まります。あいさつとは、好意を示すことです。相手に好意が伝わってこそ「あいさつ」です。

「協力」は、お互いの声かけて、育っていきます。植物を育てるのに水分を与えるように、お互いの励ましの言葉が、お互いの水分となり、心の養分となります。

「協力」は、話し合いで高まります。話し合うとは、お互いを尊重し、お互いの意見を大切に合うことです。また、自分とは違う意見を大切にすることです。

「協力」は、相手を理解することで深まります。私とあなたは違います。その違いを大切にしたいものです。

「協力」は、時に、自分を控え目にすることで成り立ちます。「私は、私は」をやめましょう。今だけ、ここだけ、自分だけ、というのはいけません。相手を立てることも大切です。

5月も半ばを過ぎ、授業も学級生活も本格化しています。土曜日には、体育祭もあります。その後、生徒総会もあります。3年生は、修学旅行をひかえています。きっと、そこで試されるのが「協力」です。クラスの協力は、普段の生活の協力が生きてきます。学年の協力が、きっと体育祭を成功に導きます。そして、学年を越えた北中生全員の協力が、きっと、体育祭を誰にとっても楽しくて嬉しいものにしてけると私は信じています。

「平和の作文」発表 -加須市平和式典 5月3日(日) -

今年度、3年の横山さんが、代表として作文を発表しました。みなさんにも「平和」について考えてほしい、そのきっかけとしてほしいと思い、以下、掲載します。



今の世界は平和でしょうか？少なくとも戦争状態にない日本はとても平和的です。日本は約70年前の戦争の経験から反省し、歩んできたからだだと思います。しかし、世界を見渡すと、平和とは言えないのかもしれませんが。例えば、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、1年以上が経過した今もなお続いています。私はこの状況に残酷さや無念さを感じます。この戦争で多くの犠牲者が出て、たくさんの方が避難を余儀なくされています。この戦争によって大切な人を失った人々をテレビでよく目にしました。自分がもしこういった立場になったらと考えると、本当に恐ろしくなります。

また、「紛争」と言って経済問題や宗教、文化の違い、民族間での争い、差別などが原因となり、国内での武力衝突が起こっています。アフガニスタンやシリア、リビアなど各地で続いています。その中で、空襲や銃撃に巻き込まれて負傷、命を落とす子供達があります。「子供兵士」や「少年兵」として、強制的に武装させられて戦場に連れて行かれる子供達もいます。子供を洗脳するように教育し、無理やり武装させられています。こうした子供達は世界に数十万人もいると言われています。こうした少年兵は誘拐される場合や、自ら少年兵になるということもあります。理由は自分の命が助かる道として、選ばざるを得ないのです。そんな残酷な世界があつてよいのでしょうか。

紛争地域では食糧危機になり、栄養失調の子供達が大勢いて、生活環境の悪化で、様々な病気や感染症が流行し、助からない命もあります。特に、教育への影響は深刻で、まともに教育を受けられない場合や、学校自体が敵からの攻撃対象になることもあります。

私達の「当たり前」にある暮らしは、こうした国や地域の子供にはありません。実際に、支援団体による食料や水の支援、怪我や病気の治療、生活物資の提供などが行われています。私は今後、紛争地域に暮らす子どもたちへの教育の支援に力を入れていってほしいと願っています。

最後に、平和な世界を築いていくためにはどう社会が変わっていくことが正しいのでしょうか。「自分だけが幸せになればよい」という考え方があつてはいけません。たくさんの方が視野を広げ、今世界で起こっている平和を脅かすことについて、「おかしい」と誰もが声をあげ、自分達にできることを実行できることが当たり前の世の中になれば、世界の人々が手を取り助け合えると思います。

こういった考えを日本から世界へ発信し、世界の子供達が日本の子供達のように、「当たり前」の日常を生きてほしい、そうした日が来ることを願って、私達は今日も生きていきます。

【6月の学校行事】



日	曜	行事等
1	木	卒アル写真撮影(3年)
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	生徒総会 尿検査2次(予備)
6	火	生徒朝会 内科検診(3年)
7	水	
8	木	修学旅行(1日目)
9	金	修学旅行(2日目)
10	土	修学旅行(3日目)
11	日	
12	月	3年振替休業日
13	火	内科検診(2年)
14	水	通信陸上大会
15	木	通信陸上大会
16	金	第1回東部地区学力検査
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	学年朝会
21	水	ふれあいデー
22	木	北埼玉地区陸上競技夏季大会
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	全校朝会 内科検診(1年)
28	水	期末テスト
29	木	期末テスト 専門委員会
30	金	
1	土	